

平成25年度

社会福祉法人 阿闍羅会

障害福祉サービス事業所

【生活介護事業】

【就労支援B型事業】

ワークキャンパス大鰐

事業報告

住 所：青森県南津軽郡大鰐町大字三ツ目内

字水沢出口117番1

電 話：0172-48-2426

F A X：0172-48-2483

〈Ⅰ〉 支援内容	
1. 生活支援	
【生活介護・就労支援B型共通】	1
【生活介護】	1
2. 作業支援	
【就労継続支援B型】	2
(1) しいたけ事業	2
(2) 花・野菜事業	3
3. 保健支援	5
4. 余暇活動支援	
①行事等	7
②利用者会活動	8
・利用者会全体会	8
・行事委員会	8
・お茶委員会	8
・広報委員会	9
〈Ⅱ〉 給食	10
〈Ⅲ〉 防災	11
〈Ⅳ〉 広報	12
〈Ⅴ〉 研修及び会議	
(1) 会議開催状況	14
(2) 研修参加状況	15
〈Ⅵ〉 地域支援	16
〈Ⅶ〉 苦情解決	17
〈Ⅷ〉 がんばろう障害者元気ショップ事業	18

〈I〉 支援内容

1. 生活支援【生活介護・就労継続支援B型 共通】

担当：中平恵美、山中司

- ・日常生活に必要な、基本的な生活習慣の自立を目的とした。
- ・自立性を養い、毎日の積み重ねによって望ましい習慣の形成や、社会生活の態度・性格の社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭においた支援を行った。

(1) 支援内容

①基本的習慣の定着

あいさつ、排泄、整理の手当て、衣類の着脱、調整、たたみ方、歯磨き、手洗い、うがい、指手のアルコール消毒、食事とその後始末、整理整頓、掃除の支援を行った。

②コミュニケーションを図るための支援

- ・言語と受容と表出に関する支援を行った。
- ・パニックに対する本人及び周りの利用者への理解に関する支援を行った。
- ・コミュニケーション手段の選択と活用に関する支援を行った。

③行動に支障がある利用者に対する支援

- ・精神面及び身体面に関する理解とそれに関する支援を行った。
- ・強度行動障害への理解とそれに関する支援を行った。
- ・自閉症に対する理解とそれに関する支援を行った。

④日常生活を送る為に安全な環境作りの支援

- ・作業場の整理整頓をし足場等に危険がないように配慮した。
- ・行事活動及び休憩時間等に怪我をしないように注意した。
- ・危険と思われる物（刃物、工具など）の管理をした。

【生活介護】

担当：山中司、中平恵美

【年間作業収入 365,742円】

○内容及び次年度への課題

事業目的にあげるサービスを基にした内容のプログラムに沿って、生産活動、健康維持活動、余暇活動や同設される就労支援B型を利用されている方々との交流も大切にし、変化に富んだ楽しい時間を過ごしていただけるような工夫をし、個々のニーズに応じながら支援を行っていききたい。また、利用者の体調・健康管理を看護師によるバイタルチェックも今まで同様に行っていく。次年度は今年度の反省点(バイタルを行う曜日や休んでいる利用者への配慮等)を含め、利用者の体調・健康管理を徹底したい。

2. 作業支援

【就労継続支援B型】

担当：植田善久

平成25年度は一人当たり平均月額9,000円を目指したが、平均8,347円前後で推移している。残念ながら目標には届かなかったが昨年度より200円ほど上回っている。今年度も自主的な挨拶・時間の遵守を重点項目としたが、挨拶はまだ自主的に出来ない利用者が多く見られた。時間遵守に関しては休憩後、お昼の作業時間にはほとんどの利用者が守れることが出来ていたように思われる。しかし、朝の会やお昼ご飯、帰りの会に出る時間が守れない利用者が何名かいた。また、時間を守れる利用者とうそでない利用者がほぼ決まってきたように思われる。次年度は、今まで以上にきちんと時間を守れるように声かけをしていきたい。

(1) しいたけ事業

担当：植田善久

【年間作業収入 7,884,262円】

栽培菌種	入荷菌床数	入荷時期	発生期間
北研607号	6000菌床(D)	平成25年3月	平成25年9月～平成26年5月
北研73号	3000菌床(A)	平成25年12月	平成25年6月～平成25年11月
北研607号	6000菌床(C)	平成25年4月	平成25年9月～平成26年4月
北研607号	4000菌床(B)	平成25年10月	平成26年3月～平成26年9月
北研513号	5000菌床(D)	平成26年5月	平成26年8月～平成27年3月
北研607号	5000菌床(A)	平成26年5月	平成26年9月～平成27年4月

平成25年度 発生菌床合計数 19000菌床

平成26年度 入荷菌床合計数 17000菌床

○内容及び次年度への課題

平成25年度のしいたけ売り上げ金額は、1菌床あたり414円と昨年度より100円ほど下がってしまった。

原因として、大口の受注を受けていた業者との取引がなくなったこと、事前の調査不足・支払いの交渉不足で大阪の業者に詐欺にあったこと、Cハウスの菌床玉に大量にカビ

が発生してしまい販売できるしいたけが取れなかったこと、年末に備えて乾燥しいたけを大量に製造したが思いのほか注文数が少なく在庫を抱えてしまったことなど様々あげられる。

また、支出の部分を検証すると、昨年度Bハウスに設置したミスト散布の装置を不注意により、水を止めるのを忘れて帰ってしまったため、水の重りでビニールが破れてしまい、それを修繕するための費用がかかった。不注意による支出をなるべくささないよう、注意を払っていきたい。

サンマッシュの全国大会に今年度も出品したが、銅賞にとどまりしいたけ事業としてアピールすることが出来なかった。

次年度はカビへの対策としてハウスに送風機を設置して風通しを良くする事。作業環境の面ではC・Dハウスにも電灯を設置、利用者がしいたけ作業をしやすいよう、環境を整えたい。

しいたけの販売先に関しては、取引がなくなった業者、新規の業者の状況を考えると、現状は足踏み状態もしくは少し減っている。また、本来ならしいたけの安定した供給をはかっていくべきなのだが、大量発生する場合がある。その場合弘果に出荷している状況になっている。値崩れ等の可能性もある為、その他の業者もないか探していこうと考えている。安定した供給を目指し、外商部門との連絡をとり新たな販路拡大に努め、目標金額をクリアできるよう次年度は頑張りたい。

(2) 花・野菜事業

担当：中畑 幸

【年間作業収入 248,390円】 ※いとく分の収入は、しいたけ事業に含まれています。

・野菜事業：オクラ

ワニカム	480個 × 85円 =	40,800円
いとく	188個 × 102円 =	19,176円
弘果		5,619円
一般売り〈大鰐病院、外商含む〉		<u>68,000円</u>
合計		133,595円

・蔵館小学校・広野バッテリーセンター花壇耕耘及び定植。

広野バッテリーセンター	36,300円
<u>蔵館小花壇苗</u>	<u>27,880円</u>
小計	64,180円

・つつじ祭り・一般販売

つつじ祭り	14,880円
<u>一般売り</u>	<u>15,610円</u>
小計	30,490円

・ トマトホルモン処理 委託作業	20,125円
<u>花・野菜合計</u>	<u>248,390円</u>

○内容及び次年度への課題

オクラ：オクラは品種をガリバーではなくエメラルドで行った事により、生育、収穫量が大幅に下がったことが売上低下の大きな要因となった。その為、次年度はガリバーを生育することで、収穫量、売上を伸ばしたい。

その他、在庫を抱え収穫した物を、廃棄する事があったので新鮮なうちに無駄なく販売を進めていきたい。

野菜：敷地内の空いているスペースを使い、野菜づくりを実施。今年度より設置した無人販売で販売したところ、思った以上の売上があったので、次年度も実施していきたい。

3. 保健支援

担当：中平恵美

①保健指導年間実施日

- ・定期健康診断（小山内医院で実施）

5 / 13 ~ 5 / 30 ・ 11 / 13

- ・身体測定（体温・血圧・体重）

4 / 11 ・ 5月なし ・ 6 / 10 ・ 7 / 8 ・ 8 / 19

9 / 9 ・ 10 / 24 ・ 11 / 13 ・ 12 / 16 ・ 1 / 15

2 / 10 ・ 3 / 13

②保健日誌からのまとめ

- 7月中旬から9月上旬まで、熱中症予防対策として利用者全員にペットボトル1本を用意し、こまめに水分補給と適度な休憩を取りながら作業を行った。
- 利用者・職員全員に手洗い、うがい、手指のアルコール消毒を徹底し、インフルエンザやノロウイルスが流行する前に自宅からのマスクの装着を呼び掛けて、みんなでインフルエンザの予防に努めた。その結果、施設内でのインフルエンザ感染者は1名だった。
- 毎週水曜日(男子)・木曜日(女子)生活介護利用者の入浴を実施している。現状のキャンパスの浴室で入浴はリスクが高い。その為、利用者の身体機能に合わせて、入浴用具を購入してリスクがないよう行っている。今後も状況を見ながら、危険のないよう入浴を行っていく。
- 赤平良彦利用者
8月に入ってすぐ首の痛みがあり通院する。検査の結果、首のヘルニアと診断。首にブロック注射をして様子をみたが痛みは軽減されなかった。8月下旬から9月初旬にかけて記念病院に入院し治療を行う。痛みはだいぶ軽減された。その後、しばらく自宅療養して10月中旬からキャンパスに通所し、本人の体調を見ながら作業を行っている。また、糖尿病の治療は定期的に通院をして薬を処方されている。毎日の食事をバランス良く摂るよう指導を受けているようだが、糖尿病に対して本人や家族の自覚がかなり薄い。今後も注意深く様子観察が必要である。
- 棟方育美利用者
12月祖母が亡くなり、棟方利用者の精神状態が不安定となる。12月27日に黒石あけぼの病院受診。結果は知的障害者による心因反応(祖母の死が一番の要因)とのことで安定剤が処方された。黒石あけぼの病院の通院は半年から一年継続し、

今後も本人の状態観察を行っていく。

○佐々木孝雄利用者

お正月休みから1月中旬まで体調不良を理由に欠席していた。検査結果は特に異常なかったとのことだった。今後も本人の様子観察が必要である。

○柴田祐美子利用者

8月末に体調不良を理由でキャンパスを欠席する。自宅訪問すると食事を摂らずに、多量のアルコールを飲用していた。夜間の睡眠も取れていない状態だった。非常に精神状態が不安定なため、9月2日に黒石あけぼの病院受診。カウンセリングを行い、眠剤と生活リズムを整える薬が処方された。黒石あけぼの病院へ通院するようになってからは、睡眠や食事もしっかりとれて、生活リズムも安定している。黒石あけぼの病院通院は継続し、今後も本人の状態観察を行っていく。

○古川博之利用者

3月3日に愛成会病院へ減量を目的とし入院する。その他、糖尿病の疑いがあるとの事で検査を行った。結果、糖尿病ではなかった。現在も入院中。

③次年度の課題・方向付け

○7月～9月までは、熱中症予防対策として、水分補給強化と適度な休養を取りながら作業を進めていく。(水分補給は、個々にペットボトルの水を準備する。)

○作業中の怪我を防止するためにも、作業場を含む周辺の整理整頓をし、危険がないよう安全な環境作りと支援をしていく。また、利用者の多くは、不調を訴えたり、健康に気を配ることや衣類調整が苦手なので、利用者からの細かなサインや変化を見逃さず早く気付いて、怪我や病気を未然に防げるよう支援していきたい。

○昨年に比べて、様々な病気が発症してきている。病気など未然に防ぐためにも、適度な運動や食事の取り方について、キャンパスの看護師や栄養士と一緒に指導していく必要がある。また、家族の方と連絡を密にして体調管理に留意する。

○入浴は血行を良くし、精神的にも安らぎを与える。そして、利用者の健康維持、清潔保持を目的とするだけでなく、異常の発見にも繋がっていく。入浴の目的は様々あります。利用者の障害に応じて、危険がないよう安全な方法で入浴を行っていく。(必要に応じて入浴器具を購入して対応する。)

○インフルエンザ感染対策として、感染予防のためインフルエンザ流行の前にインフルエンザワクチン接種の呼び掛けをし重症化を防ぐ。流行時期には流行状況を把握しておく。喉の傷み、鼻水、咳、発熱など体調に変化があった場合には、家族の方と連絡を密にして、インフルエンザ感染を未然に防ぐ事に努めていく。

4. 余暇活動支援

①行事等

実施日	行事名	実施場所
平成25年4月13日(土)	三者面談	ワークキャンパス大鰐
4月20日(土)	遠足	アスパム・ワラッセ
5月11日(土)	猿賀公園散歩	猿賀公園
5月25日(日)	つつじまつり散策	大鰐町茶白山
6月15日(土)	黒石伝承工芸館散策	黒石伝承工芸館
6月30日(土)	西地区レクリエーション	五所川原市
7月13日(土)	保護者説明会	ワークキャンパス大鰐
7月20日(土)	焼肉交流会	ワークキャンパス大鰐
8月3日(土)	流しそうめん	ワークキャンパス大鰐
8月25日(土)	青森県障害者スポーツ大会	青森県総合陸上競技場
9月14日(土)	ワークまつり	ワークキャンパス大鰐
9月28日(土)	ドライブレク	岩木山総合公園
10月5日(土)	親子交流会	鰐 come
10月19日(土)	三者面談	ワークキャンパス大鰐
11月2日(土)	収穫祭&体力測定	ワークキャンパス大鰐
11月16日(土)	室内レク	大鰐町社会福祉協会
12月14日(土)	利用者忘年会	アソベの森 いわき荘
平成26年1月25日(土)	工作①	ワークキャンパス大鰐
2月8日(土)	工作②	職員研修により中止
2月22日(土)	工作③	ワークキャンパス大鰐
3月8日(土)	工作④	ワークキャンパス大鰐
3月25日(土)	工作⑤	ワークキャンパス大鰐

○ソフトボール

担当：佐藤直幸、植田善久、秋元兼洋

実施日	行事名	実施場所
5月11日(土)	練習	大鰐町社会福祉センター
6月15日(土)	練習	大鰐町社会福祉センター
10月15日(土)	玉納め	親子交流会と重なった為中止

・次年度への課題・方向付け

今年度はユニフォームを用意した。今年度も西地区レクリエーション大会に参加をし準優勝となった。次年度は練習を重ね、再び優勝を目指したい。

②利用者会活動

・利用者会全体会

担当：植田善久

実施日	主な内容
平成25年 4月 1日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習の感想 ・室内レクの感想 ・遠足について ・2月3月頑張った人
6月 3日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションの感想 ・つつじ祭りの感想 ・焼き肉について ・4月5月頑張った人
8月 1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・西地区レクリエーションの感想 ・焼き肉の感想 ・ワークまつりの利用者出し物について ・6月7月頑張った人
10月 1日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・流しそうめんの感想 ・ワークまつりの感想 ・ドライブの感想 ・8月9月頑張った人
12月 2日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・親子交流会の感想 ・収穫祭&体力測定の感想 ・室内レクリエーションの感想 ・10月11月頑張った人
平成25年 2月 4日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・忘年会の感想 ・温泉の感想 ・お楽しみ会の感想 ・レクリエーションの感想 ・12月1月頑張った人

・行事委員会

担当：中平恵美

- ・行事委員会を通して責任感や協調性を養った。

・お茶委員会

担当：中畑幸

- ・毎日のお茶委員会を通して、責任感や協調性を養った。
- ・毎月末日にお茶委員会を昼休みに行き、毎週水曜日のおやつ計画を立て掲示した。
- ・毎月1回金曜日、布巾とカップをハイターに浸けて消毒実施。(1月～3月は風邪の流行も顕著なため、毎週ハイター浸け消毒を実施。)

(お茶委員会活動時間 10:25～10:55)

・ 広報委員会

担当：山中司

- ・ 毎月の作業予定及び行事予定を毎月初日に記載・掲示した。
- ・ 毎月の掃除分担を決めて掲示した。（2ヶ月毎）
- ・ 他施設からの広報誌や、その他さまざまなポスター（案内、情報誌）などの掲示をした。

（広報委員会活動時間 12：30～12：50）

〈Ⅱ〉 給食

担当：十川文乃

①平成25年度 給食指導 対象者 男 2名 女 4名 計 6名

指導内容	具体的指導方法	対象者
咀嚼・嚥下の補助	①主菜・副菜～刻み食。	女1名 男2名
糖尿病対策	①食事療法。	女1名
肥満対策	①主食の量を軽くする。 ②主菜・副菜～刻み食。	女2名

※全体的に早食い傾向なので、全利用者に対してゆっくり食べるように声かけをしている。

②平成25年度 年間行事食実施表

月	行事	献立名	実施日	備考
7	七夕	冷やしそうめん	7月 4日	
10	いも煮会	米沢風いも煮	10月 2日	
12	冬至	かぼちゃほうとう風うどん	12月19日	
12	クリスマス	コーンライス、フライドチキン、ケーキ	12月25日	マックスバリュよりケーキ頂いた
3	ひなまつり	ちらし寿司	3月 1日	

③平成25年度 嗜好調査 3ヶ月に1回 計4回 実施。

④平成25年度 給食だより 3ヶ月に1回 計4回 発行。

まとめ・反省

- ・行事食の際は、季節感を感じながら楽しんで食べていたと思う。
- ・昨年度に比べ、行事食・嗜好調査・給食だよりを充実させる事が出来たので、来年度も維持していきたい。
- ・郷土食を出すことが出来なかったなので、来年度は出していきたい。
- ・平成26年度も利用者に喜ばれる給食作りをしていくということを大切にしていきたい。

〈Ⅲ〉 防災

防火管理者：植田善久

実施状況

月日	訓練状態	訓練時間	想定	震度・出火場所	避難場所	時間
5 / 2 2	部分訓練	11:15 ~ 11:30	地震	震度 6	駐車場	1分58秒
6 / 4	部分訓練	16:30 ~ 17:00	火災	居室 4	玄関前	1分32秒
7 / 1 6	部分訓練	16:30 ~ 17:00	火災	居室 3	玄関前	2分21秒
8 / 2 1	部分訓練	16:30 ~ 17:00	火災	居室 1	玄関前	1分56秒
9 / 2 5	総合訓練	11:15 ~ 11:30	火災	作業室 1	駐車場	2分35秒
11 / 6	部分訓練	6:20 ~ 6:30	火災	居室 5	非常口前	3分25秒
3 / 1 2	部分訓練	11:15 ~ 11:30	火災	ボイラー室	駐車場	2分07秒
<ul style="list-style-type: none"> ・ 点呼時返事を大きくするように（利用者） ・ おはしの徹底（押さない・走らない・しゃべらない） ・ 消化・誘導・放送の分担を明確にして責務を果たした。（職員） ・ 毎回消火器を実際に使用して消火訓練を行なった。 						
<p>次年度への課題、方向付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員が消火器の取り扱い方を覚えるようにしたい。 ・ 放送機器の取り扱いと順序の再確認が必要。 						

〈Ⅳ〉 広報

1. 広報誌「阿闍羅」

担当：佐藤直幸、田中大生

- ・第9号の発行

(内容) 職員紹介、新利用者紹介、行事報告、作業風景、決算報告

- ・年3回の発行予定が年度をこえてた上に、1回しか発行できなかった。
今後このような事がないよう発行していく。

2. ホームページ

担当：中畑幸、飛嶋治輝、田中大生

- ・今年度はレクや地域の祭り・各種出店など随時更新をしてきた。しかし、更新できていないレクなどがあったため、次年度は更新していきたい。また、携帯電話からも更新できるので、イベントなどの時には開催中に更新していきたい。
- ・平成25年度は、行事等についてだいぶ更新出来ていたように思う。しかし、事業内容等法人についての紹介や取り組みについて、更新や追加が低迷していた。平成26年度はホームページ全体の充実と更新できる職員の研修をしたい。

阿闍羅会公式ホームページURL

<http://ajarakai.jp/>

携帯サイト <http://ajarakai.jp/i/>

3. その他の広報

担当：簾内美希子、飛嶋治輝

◇大鰐町民文化祭への参加



今年度はショップではレクの中で、作品を作り、キャンパスでは一人一人から作品を提供していただいた。その他に両施設のPOPを作り展示している。作品の数もあり、スペースをうまく使えたのではと思う。反省点としては、あらかじめパネルの枚数を把握していればもっと良い展示ができた。

◇地域祭り等への参加

チャレンジド・ショップ運営協議会を中心にし、施設紹介も含め、生産物のアピール及び展示即売する形で参加した。また、当法人だけではなく、近隣の同様な施設の物についてもPR及び販売をしている。

今年度は全国大会が青森県・北海道など近隣にて開催されたためいつも以上にPRできた。

参加状況

- ・大鰯温泉つつじまつり
- ・各種施設のまつり
- ・全国生産活動就労部会全国大会
- ・精神保健福祉全国大会
- ・鰯come祭り
- ・大鰯まるごと商人市
- など。

〈V〉 研修及び会議

(1) 会議開催状況

①事業会議

担当：竹内友紀、植田善久

開催日	構成員	会議内容
3 / 13、4 / 18、5 / 23、 6 / 27、7 / 18、8 / 22、 9 / 19、10 / 17、11 / 21、 12 / 19、1 / 23、2 / 20	全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事日程 ・ 作業予定 ・ 収支報告 ・ 職員体制について ・ 事業展開について など

②給食会議

担当：十川文乃

開催日	構成員	会議内容
3 / 13、4 / 18、5 / 23、 6 / 27、7 / 18、8 / 22、 9 / 19、10 / 17、11 / 21、 12 / 19、1 / 23、2 / 20	全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食業務、内容の協議 ・ 思考調査の検討 ・ 調理、味付けの工夫等の検討 ・ 利用者給食指導の内容報告と検討

③ケース会議

担当：渡辺厚子

開催日	構成員	会議内容
4月24日(水)	全職員	めだかの会報告、支援計画、ケースファイル 他
5月9日(木)		ケースカンファレンス、支援計画 他
6月13日(木)		めだかの会報告、ケースカンファレンス 他
7月4日(木)		ケース、保護者説明会 他
8月7日(水)		めだかの会報告、ケースカンファレンス 他
9月5日(木)		ケースカンファレンス、利用者担当 他
10月25日(金)		支援計画 他
11月12日(火)		研修報告、カンファレンス、支援計画、職員研修 他
12月5日(木)		めだかの会報告、カンファレンス 他
1月16日(木)		レク 他
2月6日(木)		めだかの会報告、ケースカンファレンス 他
3月6日(水)		ケースカンファレンス、行事 他
3月25日(火)		モニタリング、個別能力評価 新担当 他

(2) 研修等参加（実施）状況

実施日	研修名	研修場所	参加者
6月20日	自閉症への就労（作業） 支援の取り組み	弘前社会福祉センター	中平恵美・中畑幸
6月28日	(株)シーケンスサービス 安全衛生大会	クラウンパレス青森	三上拓雄・山中司
10月10日	ひろネット勉強会	弘前学習センター	植田・山中（司）・中畑 奈良岡・佐藤・三上
10月22日～ 10月23日	東北地区知的障害者福祉協会 支援スタッフ部会	ホテルメトロポリタン 秋田	植田善久
10月26日	オンブズマンネット ワークセミナー	サンルート五所川原	中平恵美・中畑幸 佐藤直幸・三上拓雄
10月28日～ 10月29日	相談支援従事者初任 者研修	県民福祉プラザ	中平恵美
11月7日～ 11月8日	青森県知的障害者福祉協会 職員・利用者研修会	青森国際ホテル	中畑幸・立川雅子
2月8日～ 2月9日	青森県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会	ホテル ニューキャッスル	佐藤・中平・植田・中畑・奈良岡 山中（司）・十川・三上

〈VI〉 地域生活支援

(1) グループホームすみれ荘

○住居 定員7名、現員7名（平成26年3月31日現在）

利用者内訳 （就労1名、就労移行支援1名、就労継続支援B型5名）
（A判定1名、B判定6名）

○食事 メニューについては栄養面を配慮し、入居者の意見を聞きながら作っている。
健康面を留意して、好き嫌いなく何でも食べられるように工夫している。
月に1～2回夕食は外食にしている。

○地域との関わり

町内の行事であるねふた祭り、宵宮等に参加している。
温泉地であり公衆浴場を利用して住民との会話が増えている。

〔内容及び次年度への課題〕

- ① 世話人が研修に参加して、より質の高い支援を求めていく。
- ② バックアップ施設としても訪問回数を増やして入居者の現状を把握して、何でも相談しあえる環境を作っていきたい。
- ③ 利用を希望する人が増えてきているため、それに答えることが出来るようにしていきたい。

(2) ケアホームあやめ

○住居 定員6名、現員5名（平成26年3月31日現在）

利用者内訳 （生活介護1名、就労継続支援B型5名）
（区分2：3名、区分3：1名、区分4：1名）

○食事 メニューについては栄養面を配慮し、入居者の意見を聞きながら作っている。
健康面を留意して、好き嫌いなく何でも食べられるように工夫している。

〔内容及び次年度への課題〕

- ① 世話人が研修に参加して、より質の高い支援を求めていく。
- ② 利用者の生活の安定をはかり、住みやすい環境を作っていく。
- ③ 入居者不足から経営が不安定になっている。また、一人の利用者が周りの利用者に対して影響が大きく、新しい利用者を増やせていない現状を改善したい。

〈Ⅶ〉 苦情解決

○施設担当職員

苦情解決責任者 施設長 渡辺厚子
苦情受付担当者 事務主任 佐藤直幸

○訪問記録

訪問日	委員名	状況と問題点
4 / 1 5	村上、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
5 / 2 7	村上、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
6 / 1 7	村上、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
7 / 8	村上、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
8 / 1 2	村上、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
9 / 1 7	村上、工藤	3名の利用者と面談 特に問題なし
1 0 / 2 8	村上、工藤	7名の利用者と面談 特に問題なし
1 1 / 1 8	村上、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
1 2 / 1 6	村上、工藤	4名の利用者と面談 特に問題なし
1 / 2 0	村上、工藤	3名の利用者と面談 特に問題なし
2 / 1 7	村上、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
3 / 1 0	村上、工藤	8名の利用者と面談 特に問題なし

〈Ⅷ〉 がんばろう障害者元気ショップ事業

担当：中嶋綾子

平成24年3月31日を以て終了になった「チャレンジド・ショップ応援事業」の体制と効果を継続させるべく県からの委託を受け「がんばろう障害者元気ショップ事業」を立ち上げ実施してきた。前年度までの課題であった販路拡大、製品紹介、認知度アップ等については現在の顧客関連、イベントの出店で製品紹介は多少ではあるができたと思う。しかし販路拡大とまではいかず現状維持となった。

参画施設間での情報交換の場として会議の回数を増やし現況報告や商品の情報をいただいている。

A型事業所に向けての取り組みとしては、なかなか時間がとれなかった。今後も情報収集が必要である思う。

○参画施設及び年間売上

ワークキャンパス大鰐	2,098,740円
ワークショップ大鰐	4,069,800円
ワークランド茜	136,400円
月見野園	0円
月見野食房	35,720円
夢工房月見野	715,550円
いわきの里	12,050円
玄輝門	16,000円
エイブル	301,665円
MEGO	64,890円
青松園	0円
ワークセンターつばき	250円
ないすらいふ	86,290円
つがる野工房	0円
就労サポート弘前	141,300円
せせらぎの園	101,287円
サポートセンターさくら	15,600円
ワークセンターのれぞれ	13,650円
合 計	7,809,192円

○参加イベント

5月24日～6月1日	大鱈温泉つつじ祭り
6月8日～6月9日	まるごと大鱈商人市
8月10日～11日	全国障害者研究問題会
9月28日～29日	全国生産活動・就労支援部会 職員研修会 北海道庁赤レンガ庁舎前広場
10月13日～14日	まるごと大鱈商人市
10月13日	さくら園まつり
10月25日	精神保健福祉全国大会
11月23日	第8回アップルフェア
11月25日	第28回大鱈町社会福祉大会
1月25日	大鱈グルメあったか祭り
3月16日	春の鱈 come まつり

○次年度への課題

元気ショップ事業は平成26年3月31日を以て終了となったが、今後の方向性として今までの協議会へ参画して下さっていた施設と当法人とで売買契約を結び、現状の取引を継続していく。

県からの助言指導もふまえながら進めていく。

販路拡大 製品紹介 認知度アップ等は今以上に成し遂げられるよう努力していく。また次年度 A 型事業所立ち上げる際、必要なことが一つでも多く学べるよう研鑽等していきたい。